

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	OZデイゆくはし		
○保護者評価実施期間	2025年2月15日		2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年2月15日		2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師、訓練士が連携し、子どもたちが快適に過ごせるよう、身体機能の維持のための医療的ケアやリハビリを充実させている。	子どもたちがより快適に過ごせるよう、保護者と密に情報交換をし、必要に応じて主治医、訪看、学校、療育センターと連携を取っている。	学校、療育センター、訪問リハと連携を取ることで一貫したリハビリができるので見学にいかせてもらったりと関係性を深めていきたい。
2	学校、食事、排せつ、睡眠、お出かけ等、一日の生活を大切に、四季を五感で感じられるように自然とのふれあいや年間行事を意識的に取り入れています。	季節を感じられるよう積極的に戸外に出かけている。年間行事、制作に取り組み、親子イベントを開催し、保護者との交流機会を設けている。土曜日や長期休暇を利用して、お買い物にも出かけ生活の仕組みも経験できるようにしている。	「子どもたちが楽しいと思えるように」「たくさん五感が使えるように」をモットーに創意工夫していく。
3	OZだよりの作成、LINEでOZでの様子を写真でお知らせしている。	LINEで写真を送ることで、今日の様子やどんなリハビリをしているかが、わかりやすい。開所当初より続けているOZだよりを楽しみにしてくれる保護者の方も多いため、1ヶ月のまとめとして、毎月発行している。	日常に追われ、遅れがちになっているので、楽しみにしている保護者に届けるよう、努力する。また、相談支援、学校、訪看、訪問リハの方にも配布し、様子を知らせ連携を取っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等がない。きょうだい向けのイベントや支援ができていない。	保護者会の必要性が各家庭で様々で、強制するものもないので、なかなか取り組めていない。	保護者会としてはなかなか取り組めていないが、親子イベントを行うことで、保護者、きょうだいの参加を募り、交流の場としての機会を作っていく。
2	地域との交流機会がない。	どのように地域に出していけばよいかわからず、情報収集もできていなかった。	地域のいろいろなイベント等に参加することで、OZという事業所を認識していただけるようにしていく。
3			